

。まえがき。

本日は合同祭研究発表の部屋におこしいただいて、
ありがとうございました。

1月17日に阪神・淡路大震災が発生し、多くの方がボ
ランティアとして活動し、話題になりましたが、3月~4月を
境に現地ボランティアは減少し、単なるブームで終わ
ってしまったかのように見えます。

同朋大学でも震災のことは日に日に忘れられていくよう
です。学生たちの関心のなさを実感させられることも何度か
ありました。

だからこそ、大学祭(合同祭)という学生の集まる機会を
利用しようと思いました。研究発表を行い、もう一度みな
さんに震災を思いだしてもらいたい、という思いから、406
教室の展示とこのレジュメが完成しました。

震災の悲慘さを過去のできごととして忘れてしまうことな
く、僕たちがいつ自分の身に起こるかもしれないことを認
識し、広く伝えていくことが大切です。

今日、この発表をきっかけに何かをやっていこう、考えていこう、
とみなさんに感じていただけたら、本当にうれしいと思
います。

同朋大学 ボランティアネットワーク
(DVN)

阪神・淡路大震災発生からボランティア活動
そして、同朋大学ボランティアネットワーク誕生

1995年1月17日 午前5時46分 阪神・淡路大震災が発生しました。同朋大学でも「何かしたい」という声が上がリ、大学がまとも役になってボランティアを募り、2月1日説明会を開きました。そして、2月5日に現地活動の拠点となった、大阪難波別院に入り、2月6日～3月31日まで、様々な活動を展開してきました。活動も終りになるにつれて、「今後も継続した活動が必要だ」という思いが出てきました。この思いから、4月以降は大学に帰り、そこから出来る支援を行って、こうという事で、「同朋大学ボランティアネットワーク」が誕生したのであります。

『黒い虹』

阪神大震災遺児と共に生きる会編

ゴトゴトさんがつれていったの

ババまきみをおいてひとり
でんごくへいってしまった

ババにてがみをかくからね

ババなんでおそらにいったの

ゴトゴトさんがつれていったの

マーチャンのおうちに

きていたらよかったのに

たかしマーチャンのところにきてね

〔解説〕この詩は、地震でじくなつたお父さんの姉にあたる伯母さんが、8月12日に正美ちゃんがつぶやいたことを書き取ったものです。詩の中の「ゴトゴトさん」とは地震のこと、「たかし」はお父さんの名前です。カットは、正美ちゃんが描いたお父さんの似顔絵です。

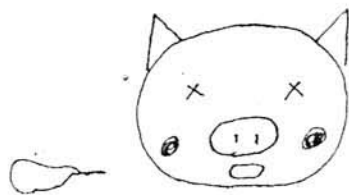


4歳 道綱 正美

次の文章は、阪神・淡路大震災において2・3月に現地で活動した際に、活動者一人ひとりがその時々感じたことや、考えたことを思い思いに書き綴ったノートから抜き出したものです。

この文章にある一文字一文字が、約10ヶ前のあの時間に私達が、何を悩み、何に苦しめ、何に喜びを感じ、そして考えたのかを、そのままの形で"思い出させてくれること"と思います。

今、震災に対する意識は、薄れつつあります。しかし、私達 DVN は、この文章を今回の大地震が私達にとってどれほど"重大な出来事"であり、忘れてはならないものであるのか、もう一度思い返してみることの大切さを、ぜひ伝えていきたいと思っています。



2/20

私は、一週間、宝塚市役所でボランティアをしておて様々な人に、またその背景に出会いました。多くの友人も出来ました。

家が全壊、半壊しているのに市のボラで働いている人、全国からボラのために来てる人、企業ボラで来てる人...etc。皆一生懸命でした。中でも私が一番感じたのは、市役所の職員さん達も皆、宝塚市民であり、被災者であるという事でした。

苦情や文句を言う人も市民であり、それを受け取る方も市民なのです。最初、市の対応が悪いなと思いましたが、それは大きな間違いだといこのボラに参加して気づきました。

このボラにこれから参加する人は、このことを考えた上で市役所の人を見てあげて欲しいです。

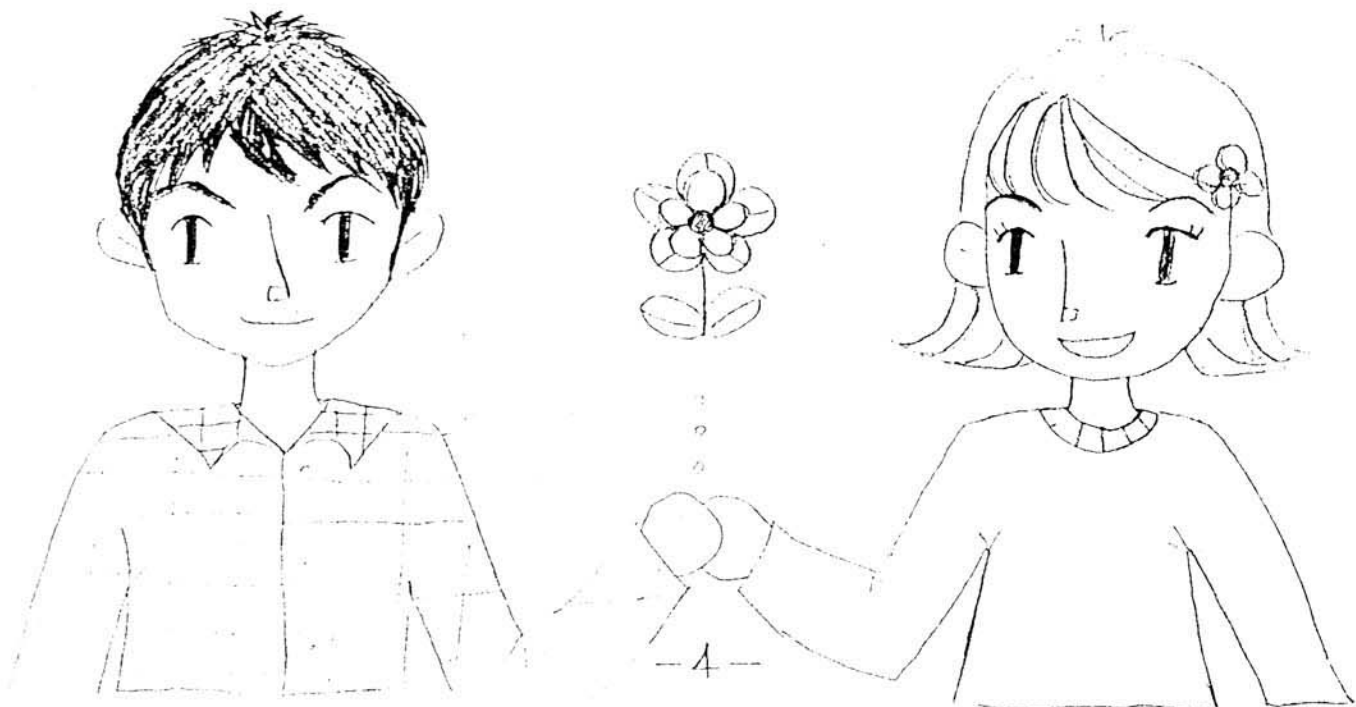
今、宝塚は、自分たち(市民)の力で立ち上がろうとしています。

もう、そうしてもいい頃です。1ヶ月が経つのですから、それを助けてくれるようなボラも行ってみよう。手を止しすぎず、でも支えるような。

今、避難所への泊まりのボラを2つ行っています。(※断続)

私も同じように自立しようとしています。もし仕事打ち切りになる(良い形で、「もうこんなボラなら来なくていい」と言われて切られるような形でなく)としてもそれは喜ばしい事なので皆で笑顔であって下さい。私たちボラが早くいなくなれるようになるのが本当に望ましいと思います。

原



3/15

成田

ここへ来てから2週間、いろんなことを考えたと思う。
思うことは1日1日変わってきたし、ほんの数ページ前に
書いたことも、今感じていることと同じ部分もあるし違う部分も
多い。こうして最後にノートを書いてても、何から書いていいか
わからないくらいいろんなことを考えて、でも私にはまだ
はっきりしたものはいまだ生まれてきていないんだけど、それは
無理にこうと決めつけることはせずにいようと思う。

これだけ人の入れ替わりの激しい中で、みんながその時その時
の状況を把握していくのは難しいことだと思った。しかも、
現地で活動する人と、大阪で間接的な仕事をする人がいて、
お互いの状況や考えていることがわからない。自分の行くところ
のことしかわからないのは当たり前だけど、でもわからない
なら聞けばよかった、語ればよかったんだけど。わからないことや
疑問を感じることがあっても、誰も何も言わなかった。
もちろん私も。自分自身に関して言えば、状況もわかってない
ままで、無理矢理答えを出そうとして、考えて考えて、でも
そんな状態じゃ何も見えてくるはずないからよけい自分が
見えなくなったんじゃないかと今は思う。何も聞こうと
しないまま考えすぎて、いろんなことを受けとめる感性が
鈍ってしまっているような気がする。

何のために5000人もの人が死ななければならなかったのか、
数十万の人が苦しい思いをしなければならなかったのか、
ショックで悲しくて、顔も見たいことはないたくさんの命がとても
愛おしくて、何かできることをしたい。そう思って来たけど、
私は、自分にできる限りのことをしたとは思えない。
何かを得るために行こう、という思いはそんなに大きく
なかったのだけれど、2週間経ってみて、私は与えられた
のではなく、受けとる、得るばかりだった。

でもそれは、団体行動の難しさや問題点も、未熟な自分に、
たくさん出会ったことも、こうやって行動を起こしてみたら
わかったこと。ただそれに気づいただけで終わらないように、

次につなげていきたいと思う。別に被災地ボランティアに限らなくても、ここで感じていることをほかせる場はいっぱいあるような気がする。

まだ見えているものが少なすぎる私は、全体を見ての意見なんて言えないけど、とにかく今思うことは、被災地が早く元気になってほしい。これです。頭で考えたことはいっぱいあったし、ボランティアの立場ややり方についてもいろんな意見聞いて、その都度考え込んだけど、心で感じていることは結局、ここへ来る前と同じことだった。

今までいろんな災害を目にして、そのときは大変なことだと思って、だんだん風化していってしまっていたけど、このことだけは忘れないと思う。街が元気になっていくようすを花に見てほしくて、どこかに種をまいて帰ろうかとか思っていたけど、やめた。私自身がまたここへ来るから。何年後かわからないけど。

これからも活動するみんな、がんばって下さい。

最後に、私も含めた日本人の、ボランティアに対する考え方が変わればいいなと少しだけ思う。

3/15 AM 11:00 発展途上人対



日
取 糸刀から

ムリだっで決めつけることは

よくないとおもう

人のいって

聞くこともできるんだし

自分勝手に

限界の枠をつくることも

もったいないとおもう

自分のいって

育てることもできるんだし

あたしは

い言じると言うことも

忘れずにいようと思う

4月から今までの DVN の活動報告

4/7~10

4月の現地ボランティア

当初は尼崎市で仮設住宅への引っ越しの手伝いの予定でしたがさまざまな事情により芦屋市の“応援する市民の会”でお手伝いさせていただきました。活動は掃除や荷物運び、引っ越しの手伝い、応援する市民の会のビラ配りなどでした。活動した人の話を聞くと、ボランティアに甘えているように思える、という感想をもったようです。ボランティアの数が多かったこともあり、家族でできることまでボランティアに頼むということがあったようです。できる限りは自分たちで助けあい、どうしてもできない事をボランティアに頼む、というのが理想的なのではないでしょうか。

4/15

ボランティア体験報告会

阪神・淡路大震災のボランティアに行って、感じたことや思ったことを名古屋の人に伝えるために、そして風化し始めた震災をもう一度思いだしてもらうために、同朋大学成徳館12階ホールにてボランティア体験報告会を開きました。現地でボランティア活動を行った学生4人による活動報告と、9人のパネリストをコーディネータ役の同朋大学教授がまとめる形のパネルディスカッションの2部構成で行いました。他にも被災地の状況の変化を知ってもらうために、全国各社の新聞記事を展示したり、被災地の交通復興状況を展示するなどしました。

4/29

チャリティーバザー

名古屋からできる支援として、同朋大学中庭でチャリティーバザーを行いました。バザー商品は大学周辺にバザー品募集のビラを配り、その場でいただいたり、都合の良い日に取りにうかがったりして集めました。当日はバザーだけでなく楽しいイベントにするために、名古屋音楽大学有志による演奏や、オークションなどを行いました。他にも名古屋造形大学・短期大学有志による子どもとの交流スペースの提供、各団体・企業・個人の震災支援商品の販売なども行い、その結果、収益金は100万円を越えるという、予想をはるかに上回る金額が集まりました。

この収益金は一部を各団体・企業・個人に返金し、残りは全額を大阪ろうあ会館、大阪障害者センター、障害者救援本部、がんばろう神戸の4団体に送らせていただきました。

5/3 ~ 17 | G.W. の現地ボランティア

約1週間の休みを利用して、現地でボランティア活動を行いました。今回は1年生や名古屋大、造形大の学生など現地へ行くのは初めてというメンバーが多かったです。活動は4月にお世話になった「応援する市民の会」の方で、芦屋市、神戸市、西宮市で行いました。しかし、遠方から短期間来るボランティアの仕事は減っており、仕事の少ない日もあり、「現地ボランティア＝汗水流して働く」というイメージを持っていた参加者の中には「なぜ来たんだろう」と思った人もいたようです。「せっかく来たのに、何もしていないなら何しに来たのかわからない」と思ったら、来てよかった、と思えるように自分から重くことも大切だと思うのですが。

5/14 | あしながPウォーク 10 参加

あしながPウォーク10とは、「あしなが育英会」主催で5月と11月に行われます。大勢で歩いて、育英会の活動を知らしてもらい、寄付金を集めようというものです。その寄付金は、今まで病気遺児の奨学金としてつかわれていましたが、今回からは震災遺児支援も行うことになり、あしなが育英会の主旨にDVNも賛同し、名古屋コースを10キロ歩きました。その際、Pウォーク10の名古屋会場の実行委員会より、バザーの協力要請があり、4/29のチャリティーバザーの残った商品をつかってスタート・ゴール地点である名城公園でバザーを行いました。収益金は25,642円。全額あしなが育英会に寄付させていただきました。

6/6 | DVN 全体会

DVNの今までの反省点に「少数に仕事の負担がかかっている」「全体を把握している人がいない」「空いている時間に来ても仕事がない、わからない」などが挙げられ、それを改善するために全体を8つの班に分け、それぞれに班長を決め、各班のことは班長がとりまとめ、把握していく、という体制にすることに決めました。

代表、代表補佐、会計と他に広報班、チャリティーバザー班、震災支援班、他方面ボラ班、大祭・夏まつり班、感想文班の6つの渉内と、他大学との渉外、一般ボランティア機関との渉外の2つの渉外班に分け、DVN登録者にはそれぞれ好きな班に入ってもらい、あまり参加できない人にはイベント時に参加してもらおう、ということにしました。

6/6はDVN登録者に集ってもらい、各班のこれからの活動を知らせるとともにDVNというものがなぜなんのために存在し、活動しているのかをみんなに再確認してもらいました。



7/7、8 夏まつり 参加

毎年行われる同朋大学の夏まつりでは「バザー」商品の残りを売って「50円払って腕すもうに勝ったら好きな商品をもらえる」という、遊びのような企画を実行しました。といっても、結局勝っても負けても商品は渡してしまいました。子どもたちはけっこうおもしろがってくれていたようです。この収益金は生協からのカンパと合わせて大阪ろうあ会館、大阪障害者センター、障害者救援本部の3団体に届けさせていただきました。同時に模擬店では「フライドポテト」とおにぎり、ほうば「ずし」を販売し、こちらの売り上げはDVNの活動資金にあてました。

他にも被災地の復興を願って笹にたんざくを飾ったり、阪神・淡路の様子を知ってもらうために成徳館1階エントランスホールに写真パネルの展示をしました。

8/19 チャリティーバザー（震災から学ぶボランティアネットの会）

「震災から学ぶボランティアネットの会」は、東海圏を中心としたネットワーク構想を実現させようと考えた人が集まって会議を重ね、設立されました。

この会の主旨は、1つめに、阪神・淡路大震災による被災者を支援している、またはしようとしている東海圏の個人・団体がネットワークを結ぶことで生まれる利点を最大限活用し、今後支援を継続していくこと、2つめに、この地域が災害等に見舞われた時、このネットワークを活用して正しい情報の収集、発信に努め、救援活動を積極的に行っていく、というもので、日福大被災者支援センターや、愛知県立大、中京大などの学生有志、名古屋YWCA、自立の為の道具の会などの社会人、奨学金を送る会などの高校生、その他個人を含めたこの地域の人々で構成されています。

同じ思いを持つ多くの人が集まることによって「できることがある」ということを2月3月に学んだDVNも事務局となってこの会に参加しています。

このネットの会で「夏休みに被災した子どもたちを招待してキャンプをしよう」という企画が上がり、その資金集めの手段としてチャリティーバザーを行うことになりました。そこで4月にチャリティーバザーを行ってノウハウを得たDVNが実行委員会として企画・運営を担当することになり、8/19、名古屋市中区の東別院北西用地で「行いました」。

バザー商品はバザー品募集のビラを配ったり、ネットの会のメンバーに頼んで集めました。バザー開催の告知はTV、ラジオ、新聞といったマスコミを利用し、同時に会場周辺にビラを配るという方法も行いました。

当日はバザーの他にやきそばやかき氷などの露店を開きました。また、ステージ企画としてミニコンサートやスイカ割り大会、オークションなどが行われ、子ども連れの家族にも大変喜ばれました。バザー商品はもちろん、露店の材料や機具などのほとんどを、さまざまな団体・個人が無償で提供してくれました。ステージ企画の出演者もチャリティーということで本当に

にくくんの人の協力があってこそできたイベントでした。

炎天下の中、100人近くのボランティアが参加して、その結果 55万円あまりの資金を得ることができました。

8/27~29 キャンプ in 白川 (震災から学ぶボランティアネットの会)

ネットの会主催で 被災した子どもたちに夏休みの楽しい思い出をつくらせようと 自然あふれる白川町で キャンプを行いました。このキャンプには 神戸市内の 養護施設や避難所の 子どもたち 19人と スタッフ 21人が参加しました。

今回は 日福大被災者支援センターが実行委員会として企画・運営を担当し、DVNからは数名がスタッフとして参加しました。

1日めの夜は みんなで夕食のカレーをつくり、キャンドルサービスを行い、2日めは ウォーラリー。昼からは川あそび。夜はバーベキューに キャンプファイヤーに きもだめしなどをして、子どもたちも とても楽しそうでした。

宿泊は蘇原教会のご協力で、食材は地元の方々のご協力で無償で提供していただきました。

今回出会った子どもたちとは、今後も交流を持ちつづけたいと思います。キャンプのあと、支援センターから 子どもたちの手紙が送られてきました。子どもたちが喜んでくれたことが スタッフにとっては最高のできごとでした。

9/4~10 9月の現地ボランティア

「被災地の現状を自分の目で確かめ、今後の支援を考えよう」という目的をもって 芦屋市、神戸市、西宮市で活動を行いました。

神戸市では東灘区の「東灘地域たすけあいネットワーク」にボランティア登録し、家事介助や外出介助を行いました。

芦屋市では仮設住宅で 住民の話し相手や 世帯言周査、ビラ配りなどの活動をしました。他に、生活用品の提供と、家に閉じこもりがちな人が外に出るきっかけになったら、ということを目的に 仮設住宅で「バザー」を開催しました。みなさん楽しそうにたくさんの買いものをして、喜んでいただけたようです。この日の売り上げ 83,230円は 震災で倒壊した神戸母子寮の再建費として送らせていただきました。

西宮市では「茶話やがパラソル」(お茶を飲みながら、ボランティアと仮設住民と地域住民が交流を深めることを目的とした交流会)を主催する西宮地域助け合いネットワークに協力する形でバザーを行いました。

利益目的のバザーではないので、お客さんにどんどん値ぎってもらい、コミュニケーションをとりながら楽しくできました。収益の約2万円はネットワークの資金にいただきました。短い時間しか現地にいられない私たちにとって、こういうイベント的なことが できることなのだと思います。

10/17 DVN 夏休みの活動報告会

DVN が夏休みに行ったチャリティーバザー、キャンプ in 白川、9月の現地ボランティア活動を通してまた、いろんな人に出会って各自が思ったこと、感じたことを、そして阪神・淡路各の現状をたくさんの人に知ってもらうために、報告会をひらきました。しかし、講義時間内に行ったため、参加人数は教員、職員も含めて25名と少なく、残念でした。

活動報告の他にも、今の仮設住宅の様子を少しでもわかってもらえるように、10/10に芦屋市で撮影した仮設住宅のビデオを放送しました。

時間の都合上、報告のみで終わってしまい、意見交換などができなかったことは残念でしたが、参加した人は報告と感想を聞いてそれぞれに何か感じたことと思います。この報告会が今後の支援を考えていく材料のひとつになったら、いいのですか!! どうだったでしょう。

11/2~5 同朋・名音合同祭 参加

DVNがどんな活動をしているのか、阪神・淡路大震災のその後、現地が今どうなっているのか、名古屋で大地震が起きたらどうしたらいいのか、そのとき、DVNは何をするのか…。阪神・淡路大震災から学び、考えたことを一挙大公開!

何といっても目玉は仮設住宅(の中身)。本物の仮設住宅と同じ間取りで教室の中に再現します。仮設住宅がどんなものなのか、どういう問題点があるのか、自分の体で体験して考えて下さい。

他にも非常食の試食、ビデオ上映、写真パネルの展示、防災グッズの紹介などいろいろあります。“忘れていませんか?大切なこと”というテーマのもとに、長期的な支援の必要性を訴えると同時に阪神・淡路大震災は決して人ごとではなく、いつ自分の身に起こってもおかしくないということを知ってもらいたいと思います。

成徳館 406教室で大切なことを思い出して下さい。

次回のDVNは？

11/12	あしながPウォーク10に参加します
-------	-------------------

今までのDVNの活動報告にもあったあしながPウォーク10が11/12に今度は白川公園スタートで行われます。(名古屋コース)

病気遺児、震災遺児の支援を行っているあしなが育英会に興味をもった人は11/12、9:30に白川公園にGoです。

名古屋コース以外にも下記のとおり行われます。(日時は同じ)
近くのコースでぜひ参加して下さい。

<愛知県>

- | | |
|---------|-----------|
| ・一宮コース | 大宮公園墳水前 |
| ・犬山コース | 林崎公園 |
| ・春日井コース | 高森川公園 |
| ・岡崎コース | 明神橋公園 |
| ・豊橋コース | 愛知大学梢風館1F |

<岐阜県>

- | | |
|--------|------------------|
| ・岐阜コース | 岐阜メモリアルセンター 芝生広場 |
|--------|------------------|

<三重県>

- | | |
|---------|-----------|
| ・四日市コース | 三岐鉄道 平津駅前 |
| ・津コース | お城西公園 |
| ・伊勢コース | 伊勢神宮外宮前広場 |

● 震災から9ヶ月半。被災地は今... ●

阪神・淡路大震災から、9ヶ月半が経とうとしていますが、マスコミで取り上げられることも少なくなり、関心がうすれてきているように感じます。今、阪神、淡路はどうなっているのかを神戸新聞を中心に調べてみました。

● 避難所はどうなってるの? ●

8/20、ご存知の方も多いと思います。
この日、避難所が閉鎖されました。

↓
避難所の代わりに、待期所を設置

- ・市内12ヶ所に1970人分のスペース確保
- ・要介護老人、障害者のいる所へ、ヘルパーを派遣したり、巡回の就労相談や生活困窮者には生活相談を行ったりと、自立の支援を行うことにした。

避難所となっている学校に迷惑をかけたくないからと、待期所に移る人もいるが、区によって設備の格差があり待期所に不満を持つ人や、会社や学校から離れている仮設しか空いていないために引越すことができない、震災前の家賃で入れる家がないという理由からそのまま学校に残るという人もいます。

8/31 神戸の学校に残る避難者は56校、1348人。

- ・市内外の空き仮設住宅2009戸の再あそびを始めた。学校・施設の避難所は9月までに解消する方針であるが、2学期から元通りの授業は実現できそうにないことになった。

市教委庶務課は「2学期は行事も多いが、普通教室や体育館が使えずに授業への影響が心配されることもあり、避難者に学校への理解を求めていく」としているが、「知らない住民とまた一緒に暮らすのに抵抗がある」と不安を訴える人もいます。

10/1 西宮市最後の避難所閉鎖

- ・神戸市内では、29日現在、11ヶ所の待期所に589人、77ヶ所の旧避難所に1583人が暮らしている。

④ 学校では…？ ④

- 8/19 避難所になっていた学校に避難者が荷物を残したまま移動し、学校側は所有者がわからないため処分する訳にもいかず困っている。
- 8/30 避難者が全て退居し、新学期のメドが立った学校もある一方で今だに避難者が残っている学校もある。その学校ではそこの授業の再開のメドが立たず、遠く離れた仮設校舎に通っている。
- 8/29 阪神大震災のために避難所になった学校とそうでない学校との間で欠けた授業時間数に大きな差が出、高校入試などでの配属が必要との指摘が出ている。欠けた授業時間数の補充は各校とも行事行の精選と授業の時間割りの見直しで年間を通して行うことにしている。

今もなお、いくつもの小・中学校が避難所となっており、授業内容や授業数の不足が心配されますが、避難者にも他人は行けない理由があり、移動を強制することはできません。住居の問題と同様、この問題の解消にはまだ時間がかかりそうです。

④ 救援物資はどうなったの…？ ④

- 8/20 残った救援物資を最後まで有効に活用しようと、神戸市長田区の小学校でボランティアが残った救援物資をバザ-形式で仮設住宅に移る住民らに提供した。
- 9/3 阪神大震災で全国から被災地に送られた救援物資が今も兵庫県の倉庫に保管されたままになっている。しかし、無償で場所を提供してもらっているビルの管理会社から「できるだけ早くあけ渡ししてほしい」という申し入れがあり、県は年内中を目標に積極的に物資の分配を進めている。県震災対策室は「一つひとつが善悪の品だから処分はできない」と話している。

● 被災地では今...? ●

- 。 9月、復興工事に関連して、兵庫県の労災死亡者が8月末で31人に上った。その大きな要因として損壊した建造物解体など慣れない作業をしたり、復旧を優先するため工期を短縮するといった安全の確保がなされてなかったことがあげられる。
- 。 8月、震災後、被災地での自殺が多発していたが、西宮市と宝塚市では震災からの心理的ショックによる震災死と認め弔慰金を支払うことにしたが、10月にも被災した宝塚市の女性が地元仮設に入れず、同市のあっせんで入居していた豊中市内の公団住宅で孤独死。だれにも見取られないまま死し、約一ヶ月後に発見された。各市の行政サイドは兵庫県外の公営や公団住宅に一時入戸した被災者の把握が十分でなく孤独死対策の谷間になっている実情を浮きぼりにしている。
- 。 仮設住宅での不備や孤独死が問題になっていますが、こんな効果があったところもあります。
震災後、芦屋市内に設けられた「ケア住宅」で入居者の健康状態が震災前より良くなったり、痴呆や精神障害の症状が緩和されたりするなど、予想外の効果が上がっている。個室が長屋状に並び、共同のコミュニティルームなどを備えた「住宅」では、専門職やボランティアらが絶えず入居者に声をかけ、24時間体制で見守っていたからであろうと見られる。

今回、DVNが講入している『神戸新聞』から記事を抜きだしてまとめてみました。神戸新聞には毎日、震災コーナーがあり、仮設住宅で暮らす人の声や、関連記事がのるのだけど、避難所・待期所に関する記事が9月に入ってからはほとんどなくなりまして。また、機会がある度に皆さんに被災地の現状を伝えていけたらと思います。



介護仮設では...

仮設見取り図に書いたこと以外に、介護用仮設ではこんな問題があります。

『同じ棟に住んでいる人がどんな人かわからない』

- ・半分共同生活のような状態にあるのに、同じ棟に誰が住んでいて、何をしている人なのかかわからない。住んでいるのかいないのかかわからない人もいる。市に聞いても教えてくれない。また男女を分けていなかったの、住む前に分けるよう要請したか聞いてもらえなかった。

『話し合いができない』

- ・「共同の場を誰が清掃するのか？」など、ここで暮らしていく上で住民どうして話し合うべきことがたくさんある。でも時間が合わないとか、連絡が取れないとかいった問題で、いまだに話し合えないでいる。

『市や行政はいいところばかりアピールする』

- ・「神戸市より早く仮設が建った」「ひさしやエアコンなど、市民の要請があってすぐ設置した」など、確かにいいところがたくさんある。でもそういったいいところばかりではない、ということも忘れてもらっては困る。

以上は、介護棟に住んでいる方から聞いたお話の一部です。

2年間しか生活しないからと言って、こんなに不便な生活をさせられている人がいていいのでしょうか？

話してくれた方は、

『人間扱いされてない』と感じています。

みなさんは、どう思いますか？

2年もこんな生活を耐えられますか？

避難時の心構え

- ・揺れは長く続きません。落ち着いて行動しましょう。
- ・火災が起きてもおせうずに消火しましょう。
- ・地震を感じたらすぐに安全な高台へ避難しましょう。
- ・避難時に自動車を使わない。

みんなでまともな避難場所へ

- ・避難時には電気とかスの始末をしましょう。
- ・避難観告が出た場合、近隣で声をかけあい、市町村職員や警察官の指示に従って移動しましょう。個人行動は危険なうえに行方不明になりやすいので絶対にやめましょう。
- ・自動車での避難は大渋滞を引き起こし、消防車や救急車などの通行や人命救助、復旧や復旧作業の妨げとなります。自動車の使用はなるべく控えましょう。

避難所の確認を

- ・自分の住んでいる地域の住宅環境をよく知り、正しく気象情報をよみとりましょう。
- ・家族の避難所を決め、家族そろって避難所まで歩いて確認しましょう。その際には、避難経路や時間を把握し、避難路に崩壊のおそれのある石積みやよう壁など、危険なところがないか確認しておきましょう。

非常時の持ち出し品を再点検

- いざという時の家族の行動や待ち合わせ場所、連絡先や連絡方法など、あらかじめ家族で相談し、しっかりと決めておきましょう。
- 災害に備えて、非常時の持ち出し品をリュックサックや袋にひとまとめにしておきましょう。

非常持ち出し品の準備

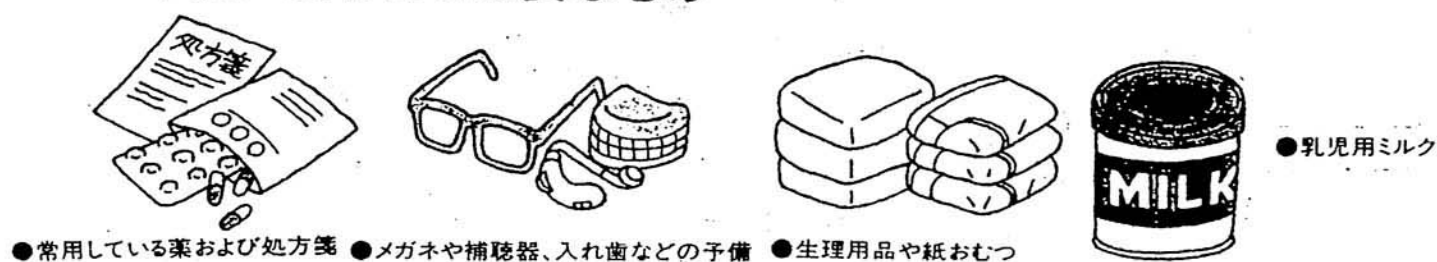
～本当に必要なものを最小限に～

わか家の事情にあわせて最小限必要なものを備えよう！

緊急時に必要なもの



家族の事情に合わせて必要なもの



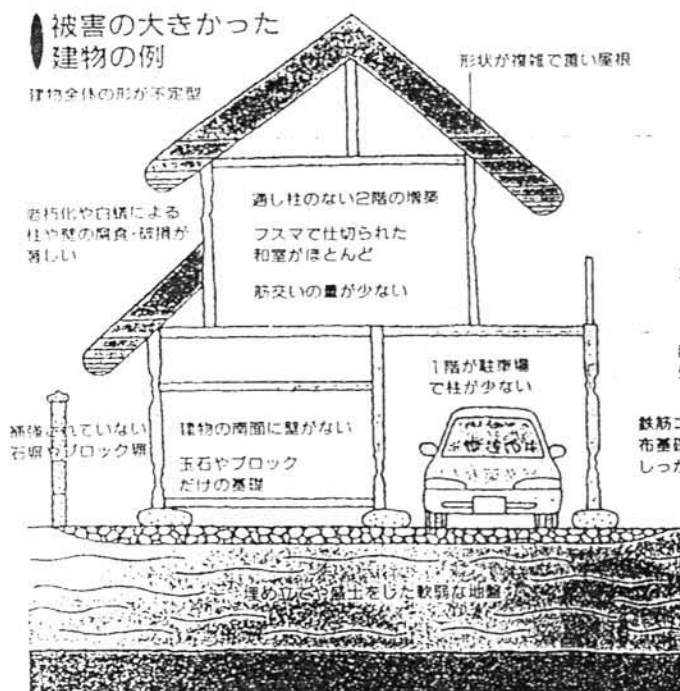
建物の点検

建物の状態が明暗を分ける！

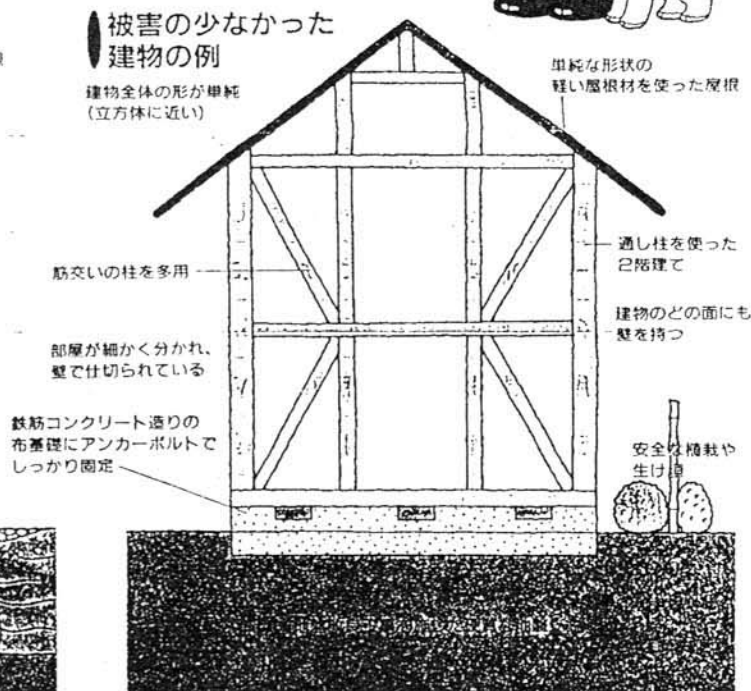
今回の大震災では老朽化した木造住宅に被害が集中しましたが、木造住宅そのものが地震に弱いわけではありません。しっかり耐震性が考慮された建物には、被害がほとんどありませんでした。あなたの家も下の図でポイントをチェックしてください。



被害の大きかった建物の例



被害の少なかった建物の例



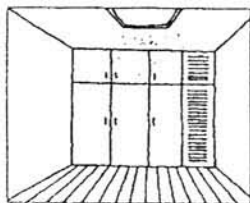
阪神・淡路大震災で全半壊した家屋は約21万棟、これら倒壊家屋による「圧死」は、死者全体(5,502人)の88%(兵庫県警発表)にも達しています。また、被災地では、倒壊家屋ととなり合わせで全く被害のない建物も見られました。

あなたの家は大丈夫ですか？ 今すぐ点検し、補強を行いましょう。

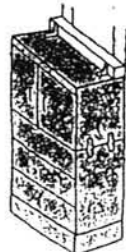
家の中の点検

家具

ユニット家具などのつくりつけのものがもっとも安全。また床から天井、左右の壁にピッタリおさめることも有効で、少しでもこの状態に近づけることが安全性を高める。



天井と床、左右の壁にぴったり収めるのが理想的



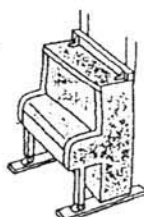
L型金具で柱に固定
(タンスや本棚など)



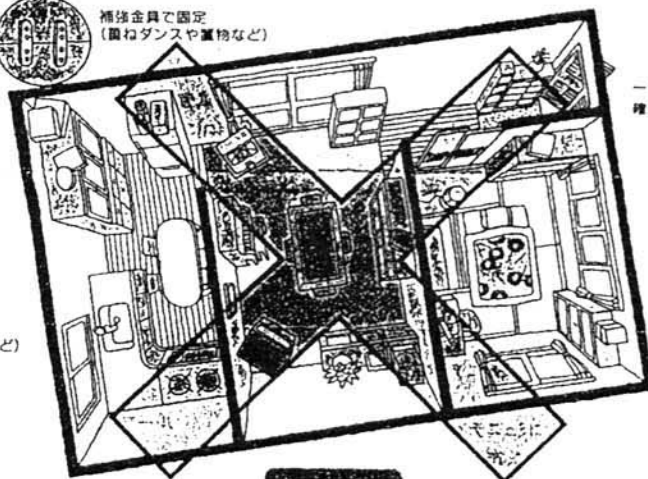
補強金具で固定
(圓いダンスや置物など)



手軽な補強材で固定
(天井の隙間を埋める)



キャスタ止め金具で固定
(ピアノ、キャスタ付き家具など)

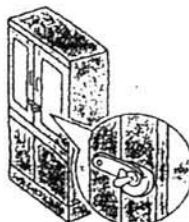


一つひとつ確認していこう!

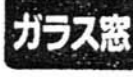
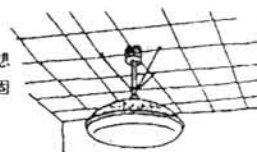
今すぐできることから始めましょう!



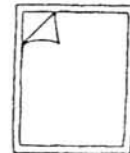
観音開き式の食器棚は、針金や簡易錠などで扉を固定。



天井に固定してあるものが理想的。吊り照明はとめて3点で固定する。



市販の飛散防止用フィルムをガラス一面に貼る。
(食器棚などのガラスも同様)



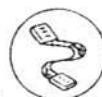
外へ出るための非常出口(玄関・ドア・窓)を倒れた家具がふさがないように注意!

寝室

寝室に大きな家具を置かない!



テレビは高い場所に置かない。
市販の固定ベルト等で固定する。



日ごろから風呂に水を溜めておく。
(断水時の消火活動や水洗トイレに活用)



コンロなどのそばには可燃物を置かない。ガスの元栓は一カ所で管理できるようにする。

室内の避難場所

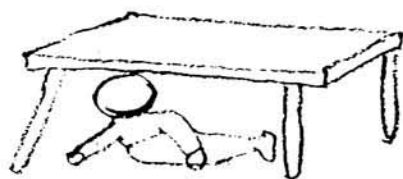
今回の大震災では、とっさにテーブルやコタツに頭を突っ込んで助かった人が多い。地震が起きたら4本足のテーブルの下に隠れよう!



阪神・淡路大震災では、激しい揺れでピアノが跳ねて倒れてきたり、家具が寝ている人の頭の上に倒れて七くなったたりしたそうです。居間や寝室から大きな家具を別の部屋に移したり、固定したりすることは今すぐことができます。ちょっとした配慮が家族の命を救います。

{地震から身を守る8か条}

1. まず身の安全確保 …… 机の下に入る、布団にもぐり込む



2. すばやく火の始末
3. 戸を開けて、出口の確保
4. 火がでたらすぐ消火
5. あわてて外に飛び出さない
6. 家の周りの危険場所調査
7. 正しい情報の収集
8. 協力し合って応急救護

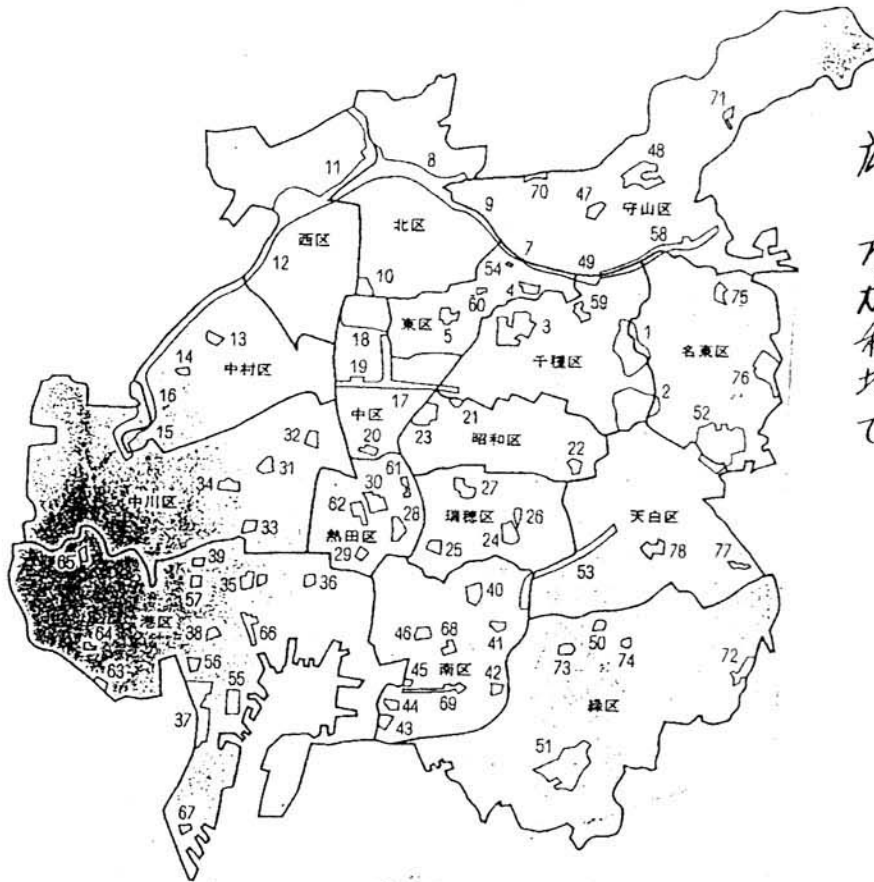
{避難の時期}

- ① 初期消火に失敗し、燃え広がる危険性が大きくなったとき。
- ② 区役所の職員や消防職員、警察官から指示があったとき。
- ③ ラジオや市からの情報や周囲の状況から避難の必要があると判断したとき。

避難の8か条

1. 避難する前に火の元点検
2. 頭部の保護を忘れずに
3. 荷物は最小限に
4. 危険な道をさけて避難
5. 連絡メモを忘れずに
6. 避難は徒歩で
7. お年寄りや子どもは手を取って
8. 誘いあって集団避難

名古屋市の広域避難場所



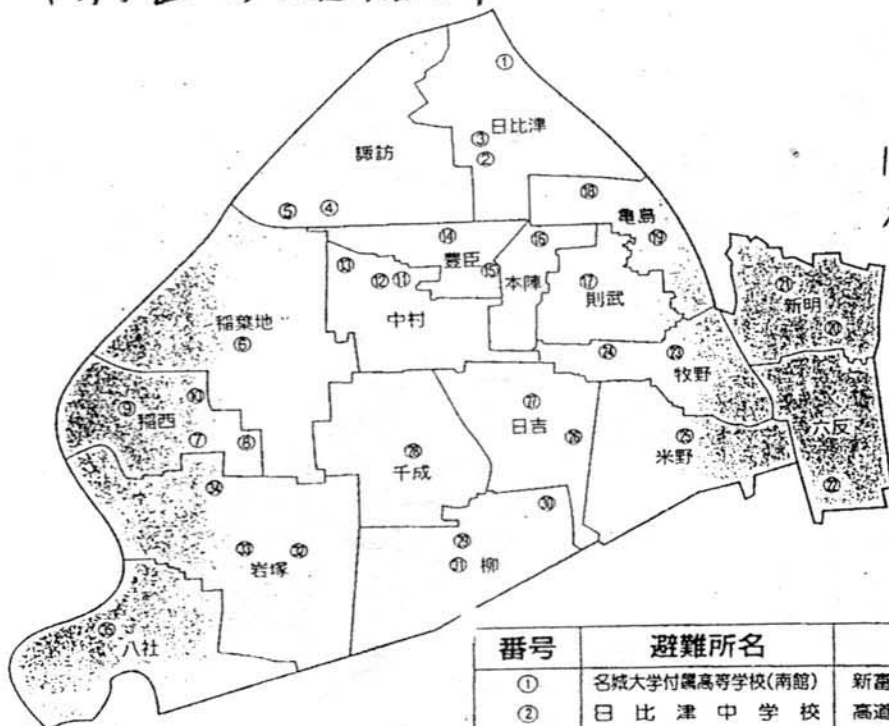
広域避難場所って？

万一、大地震において市内
から大災害になったとき、
私たちの命を火から守る
場所が広域避難場所
です。

区名	名 称	番 号	区名	名 称	番 号	区名	名 称	番 号	区名	名 称	番 号
千種区	平和公園	1	中区	大正公園	15	港区	土古公園	35	守山区	天神公園	9
	東山公園	2		名鉄公園一帯	10		名古屋競馬場	36		小幡公園	47
	千種公園	3		名宮大通	17		港北公園	36		緑地公園	48
	名宮大通	17		久屋大通公園	18		稲永公園	37		千代田公園	49
	吹上公園	21		日川公園	19		普南公園	38		大森中央公園・小幡公園一帯	58
	千代田公園	49	昭和区	金山総合駅周辺	20		小笠中央公園	38		松川公園	70
	大森中央公園・小幡公園一帯	58		吹上公園	21		稲永中央公園	55		志段味スポーツランド	71
東区	茶屋ヶ坂公園	59		興正寺公園	22		宝神中央公園	56	緑区	鳴子中央公園	50
	愛知教育大学付属小中学校一帯	4		瑞穂公園	23		当知中央公園	57		大高緑地	51
	尾中寺周辺	5	瑞穂区	瑞穂公園	24		日光川公園	63		みどりヶ丘公園	72
	矢田川公園	7		興和ゴルフ場	25		新茶屋川公園	64		新田緑地	73
	千代田公園	49		市立大学西学部	26		戸田川公園	65		海の水公園	74
	木ヶ崎公園	54		名古屋大谷高校跡地	27	南区	荒子川公園	66	名東区	平和公園	1
	徳川公園	60	熱田区	天白川緑地	53		国際展示場	67		東山公園	2
北区	矢田川公園	7		熱田神宮	28		呼続公園	40		牧野ヶ池緑地	52
	水分公園	8		熱田高校	29		五寺公園	41		大森中央公園・小幡公園一帯	58
	天神公園	9		熱田神宮公園	30		名南工業高校	42		明徳公園	75
	名鉄公園一帯	10		神宮東公園	61		白水公園	43		瑞穂公園	76
	洗心公園	11	中川区	白鳥公園	62	守山区	大同公園	44	天白区	東山公園	2
西区	洗心公園	11		名古屋国際会議場	63		竜春グランド	45		牧野ヶ池緑地	52
	庄内緑地一帯	12		万場大公園	15		宝生公園	45		天白川緑地	53
	庄内緑地一帯	12		大正公園	16		忠道公園	46		荒畑緑地	77
中村区	中村公園	13		松葉公園	31		天白川緑地	53		天白公園	78
	瑞穂公園	14		ナゴヤ球場	32		総合体育館一帯	58			
	万場大公園	15		市立工業高校	33		大江川緑地一帯	69			
				荒子公園	34		矢田川公園	7			
							水分公園	8			

■ 名古屋市の広域避難場所は77カ所です。(6番は欠番)

中村区の避難所



避難所って？

風水害や地震など、住宅が壊れて生活ができなくなったとき、又は、災害にみまわれる可能性が高く、事前に避難が必要になった場合などのときに、開設されます。

避難のまえの 日頃の備え

- ・上の地図をみて、まよりの避難所の場所と道順などを、自分の目と足で確かめておこう。
- ・非常用持ち出し品を準備しておこう。
- ・避難したあとの家族間の連絡方法を話しあっておこう。
- ・非常時には電話がかからないことがある。

番号	避難所名	所在地	電話番号	所在学区名
①	名城大学付属高等学校(南館)	新富町1-3-16	481-7436	日比津
②	日比津中学校	高道町2-2-36	481-8336	
③	日比津小学校	高道町2-1-30	471-4528	
④	諏訪小学校	諏訪町2-6-7	411-4602	諏訪
⑤	中村高等学校	菊水町1-2-18	411-7760	
⑥	稲葉地小学校	靖国町3-20	411-2484	稲葉地
⑦	岡朋学園	稲葉地町7-1	411-1111	稲西
⑧	豊正中学校	稲葉地町7-1の2	412-3176	
⑨	稲西小学校	稲西町88	411-6645	
⑩	中村青年の家	稲葉地町2-20	412-6011	
⑪	中村小学校	中村町1-72	481-1246	中村
⑫	中村スポーツセンター	中村町字待屋43-1	413-8942	
⑬	名古屋競輪場	中村町字高畑68	411-0013	
⑭	豊臣小学校	森末町2-1	481-3166	豊臣
⑮	中村社会教育センター	鳥居通3-1-3	471-8121	
⑯	本陣小学校	松原町1-24	471-2272	本陣
⑰	則武小学校	松原町5-5	471-7171	則武
⑱	笈瀬中学校	佐古前町5-4	461-3212	亀島
⑲	亀島小学校	亀島一丁目5-29	451-8402	
⑳	笹島中学校	名駅四丁目19-1	582-4726	新明
㉑	新明小学校	名駅三丁目17-14	565-1156	
㉒	六反小学校	名駅南四丁目6-38	571-7211	六反
㉓	牧野小学校	竹橋町3-4	451-9378	牧野
㉔	中村区役所	竹橋町36-31	451-1241	
㉕	米野小学校	権現通1-28	451-5438	米野
㉖	黄金中学校	権現通4-28	481-9451	日吉
㉗	日吉小学校	城主町1-1	481-6226	
㉘	千成小学校	日ノ宮町1-120	471-5112	千成
㉙	松蔭高等学校	烏森町2-2	481-9471	柳
㉚	豊国中学校	北畑町1-8	481-4191	
㉛	柳小学校	烏森町2-56	471-5115	
㉜	御田中学校	岩塚町2-10	412-3552	岩塚
㉝	岩塚小学校	岩塚町4-17-1	412-3070	
㉞	立正佼成会名古屋西教会	鶴付町2-42	411-6271	
㉟	八社小学校	八社一丁目199-2	411-4168	八社

※避難所を利用する際には、学区にかかわらず、まよりの施設をご利用ください。

地震！ こんなときどうする？

Q1. 屋外にいたら？

- 看板、窓ガラス、外壁などの落下に注意する。
- 道路の亀裂や陥没、隆起に注意する。
- 狭い道路や崖ぶち、川べり、ブロック塀、橋などから離れる。

Q2. 乗り物に乗っていたら？

- つり革や横木などにつかまる。
- 荷物棚からの落下物に注意する。
- 車内アナウンスの指示に従い、絶対に単独行動はとらない。
- 非常コックを開けて外に出る時は、乗務員の指示に従う。

Q3. 地下街にいたら？

- ガラスなどの落下物に注意する。
- 停電しても、すぐに非常電源により照明が点灯するのであわてずに行動する。
- 出入口に殺到しない。
- デマにまどわされず、緊急放送や係員の指示に従う。

Q4. デパート・劇場・映画館にいたら？

- 衣類や持物などで頭を覆い、落下物から身を守る。
- 出入口に殺到せず、場内放送や係員の指示に従う。
- 停電してもあわてず誘導灯や非常照明をたよりに冷静な行動をとる。
- エレベーターは使わない。

Q5. エレベーターに乗っていたら？

- 各階の停止ボタンを全部押す。停止した階で降りる。また、決して乗らない。
- 途中階で停止した場合は、冷静にインターホンを使って管理室に救助を求める。

Q6. 海岸にいたら？

- 海岸では津波が襲ってくる可能性もあるので、なるべく早くその場から遠ざかり高台などに避難する。

名古屋市『地域防災計画』って知ってますか？

阪神・淡路大震災の反省を生かした防災計画の見直しは、平成9年度までに行われます。市防災会議で見直しに向けた10項目の検討課題があげられました。

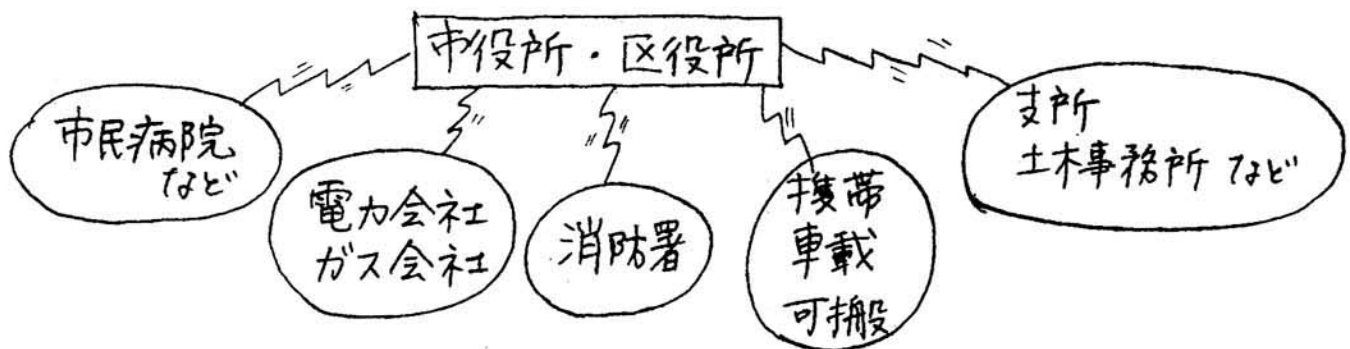
① 防災体制の早期確立

- ・職員の指定動員制度
(一定の職員が地震発生時に集まる場所を指定)
- ・具体的な活動マニュアルの作成

② 防災情報系の充実整備

- ・被害情報収集のために地域防災無線を導入
- ・安否・生活情報などの収集・提供方法の確立をはかる

地域防災無線 (イメージ)



③ 消火・救助体制の整備強化

- ・防災支援車の導入
- ・耐震性防火水槽の充実
- ・自主防災組織の結成、育成
(市民による応急消火救助体制の確立)

④ 災害対策活動の支援

- ・緊急道路網の見直し
- ・ボランティアの連携体制、受け入れ体制の整備

⑤ 被災者救護体制の確立

- ・医療救護体制の見直し
- ・収容避難所の充実
- ・ヘリポートを備えた災害対応型公園施設の整備
- ・備蓄・調運物資の充実

⑥ 市民生活の早期復旧・支援体制の確立

- ・仮設住宅の供給計画 充実
- ・応急危険度判定士の整備
- ・被災相談の充実

⑦ 災害弱者対策

- ・災害弱者の避難、誘導、救助体制の確立
- ・行動マニュアルの作成
- ・避難所生活の福祉的な配慮の検討

⑧ ライフラインの強化

- ・上下水道、地下鉄など耐震性強化
- ・応急給水対策、代替運行体制など

⑨ 地震に強い街づくり

- ・各種施設の耐震調査と補強
- ・液状化対策の推進
- ・市街地の耐震強化・不燃化

⑩ 市民の防災意識の啓発

- ・講習会、行事、学校等での広報活動
- ・防災訓練の充実
- ・企業、事務所には防火管理指導を通じて防災意識の
向上を図る。

震災に強い水道をめざして――



名古屋市の対策

名古屋市



「軟弱地盤地域」

地震に対して比較的弱い。

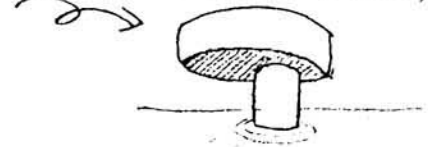


「耐震強化区域」と定める

神戸の地震にも耐えた「耐震管」を使用。
この区域以外でも水道管の耐震化を
すすめている。

- ・ 港区に「応急給水センター」を建設
備蓄型の施設

こんはカタ4 (地上)



- ・ 応急給水施設

全広域避難場所など140か所に設置、耐震管を布設。
地震が起きたとき、蛇口をつければそこから水が汲める。

水道水の備蓄法

人が生きていくためには 1日3Lの飲料水が必要といわれています。備えとして家族の人数の3日分を目安に水道水を備蓄しましょう。



1. 20L程度のポリ容器を用意

2. 容器に空気が残らないように水を入れる
(細菌の汚染を防ぐ)

3. 直射日光の当たらない所へ静置

保存期間は一週間が目安

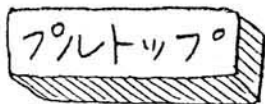
(一週間を過ぎたら雑用水として利用
また新しい水道水と入れ替える。)

ちょっと
お知らせ

DVNでは

フリットップ、使用済みテレカ、古切手を集めています

～ 皆さん ご協力をお願いします ～

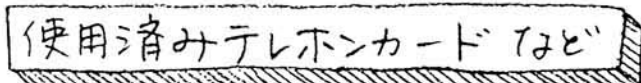


送り先：環公害防止連絡協議会

(静岡県 清水市辻4-438 〒424)

こちらでフリットップを集めて車椅子を購入しているので送り先としました。
スチール缶のフリットップはアルミなので、スチールをリサイクルする際にアルミが
タメになってしまいますが、この少しのアルミでも積み重ねれば車椅子に！

自動販売機、空き缶入れのところに回収箱が置いてあります。

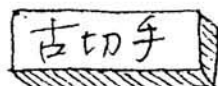


送り先：財団法人 家族計画国際協力財団 (ジョイセフ)

(東京都新宿区市ヶ谷砂土原町1-1 〒162)

テレカ、JRのオレンジカード、ハイウェイカード、メトロカード、ふみカード

図書カードを集めています (使用済み)。コレクターに買ってもらい、売りを
アジア、アフリカ、ラテンアメリカなどの発展途上国の援助にあてます。

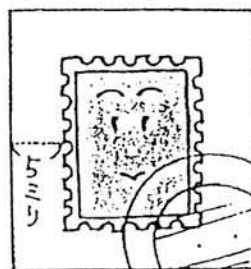


送り先：誕生日ありがとう運動本部

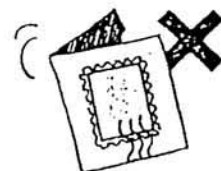
(神戸市中央区御幸通8丁目1-6 〒651)

テレカと同じく コレクターに買ってもらい、
売りを「ちえおくれ問題」の
社会啓発資金として活用します。

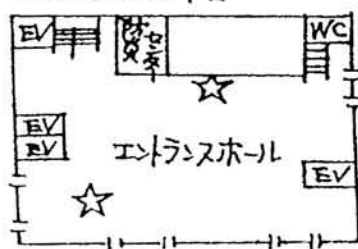
～ 回収箱はこちらです ～
ご協力をお願いします



- ・ 封筒に貼ってある切手を、周囲
約5ミリの余白を残して切り取
ってください。
- ・ 封筒の裏側の紙をいっしょに切
り取らないでください。

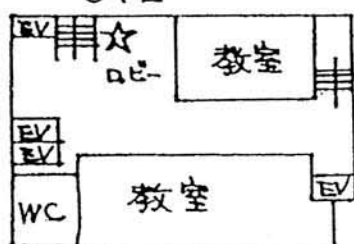


成徳館1階



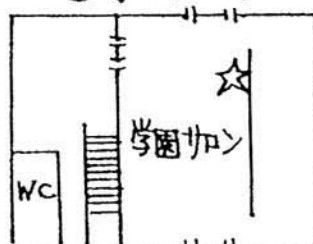
DVN掲示板(切手)
公衆電話横(テレカ)

5階



ロビー掲示板(切手)

C号館1階



公衆電話横(テレカ)

朋斎館1階



DVN本部(テレカ・切手)

あとがき

阪神・淡路大震災 から 9ヵ月半、"私たち
学生に何が"できるのか" 手さぐりの状態で"
今までやってきました。

1月17日、多くの命が失われ、今も傷ついたまま
の心を抱えて 不自由な生活を送っている人々が
今もたくさんいます。私たちが必要とされてい
る限り、これからもできることを模索しな ながら活
動を続けていきたいと 思います。

阪神・淡路大震災から 感じたこと、思ったこと、考
えたこと、学んだことをひとつもムダにしないように
そして震災のみでなく、広くボランティアというものを考えて
いこうと 思っています。

SPECIAL THANKS♡

今回、合同祭に参加するにあたり、たくさんの方のご協力を頂きました。私たちだけでは訴えられないこと、たくさんあります。

〔仮設住宅〕

- ☆協同建設 鈴木昭次さん
- ☆三品建具店 ★木村七二さん
- ☆アイシン精機

〔防災用品 - 非常食〕

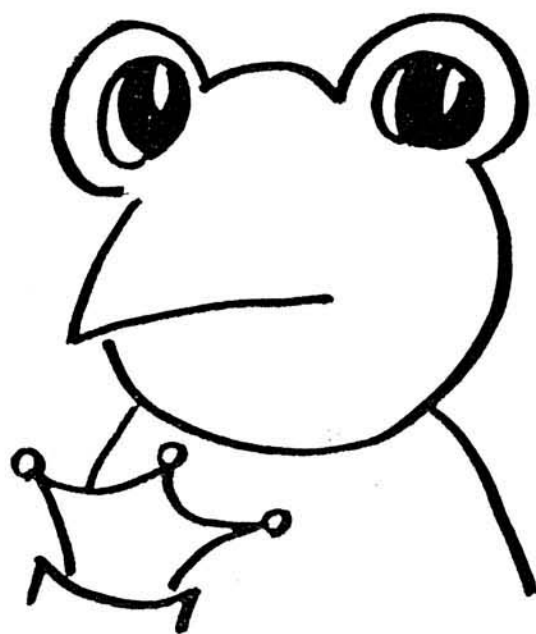
- | | | |
|-------------------|-------------------|---------------|
| ☆あべかわ餅……日本エフディ（株） | 長野県南安井曇郡三郷村明盛1589 | ☎0263—77—2461 |
| ☆おにぎり……尾西食品（株） | 東京都港区三田4-15-36 | ☎03—3452—4020 |
| ☆おかゆ缶……（有）ヒカリ食品 | 新潟県五泉市下条88 | ☎0250—43—5611 |
| ☆カンパン……国分（株） | 東京都中央区日本橋1-1-1 | ☎0120—417592 |
| ☆名古屋市港防災センター | 名古屋市港区港明一丁目12-20 | ☎052-651-1100 |

〔展示〕

- ☆新聞……青島義雄（青島新聞）、神戸新聞
- ☆写真展示……鈴木木工所、竹内ネモニヤン
- ☆仮設住宅……芦屋市役所
 - （ビデオも含） 高浜北ふれあいセンターの運営委員の皆さん
 - 芦屋大学グラウンド内仮設住宅に住んでいる皆さん
 - 芦屋大学の隣の仮設住宅内の皆さん
 - 芦屋大学の隣の仮設住宅ふれあいセンターの小林さん
- ☆ビデオ……C B C放送、毎日放送
- ☆作文集……風呂バスボランティア連絡会
- ☆防災対策関係…中村区内の多くの場所の方々
- ☆表札の木……串原食肉加工組合グローバル 岐阜県恵那郡串原村松本3554
- ☆日本福祉大阪神淡路大震災被災者支援センター
- ☆阪神大震災地元N G O 救援連絡会議
 - 仮設住宅連絡会山田光さんほか
- ☆愛知大学WAVE、アルバーソ・チカさん、岡本光彰さん……その他のの方々
- そして……同朋・名音合同祭の実行委員会の皆さん

本当にありがとうございました

思い出せましたか？



大切なこと

＝ お く つ し ｝ ＝

発行日 1995年11月 2～5日の大学祭期間中
編集責任者たち DVNF, 堀
発行者 DVN (同朋大学ボランティアネットワーク)
〒453 名古屋市中村区稲葉地町7-1
☎/FAX 052-413-6304

DVN

中

四

新

聞 1995年(平成7年)11月3日(金曜日)

新聞記事の転載あり 省略